

平成 29 年 2 月 22 日時点

(6) 事務事業に関する評価														
評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難												
	【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)													
	② 成果の状況	成果指標A	成果指標			☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	比較 成果 動向	23年度 24年度	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28計画
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	次ページ(6)'に記載						☐ 低下		A		0.0	0.0	0.0
								I		0.0	0.0	0.0	0.0	
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取組む事項について記載)	時期	内容				今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()							
	例年どおり実施													

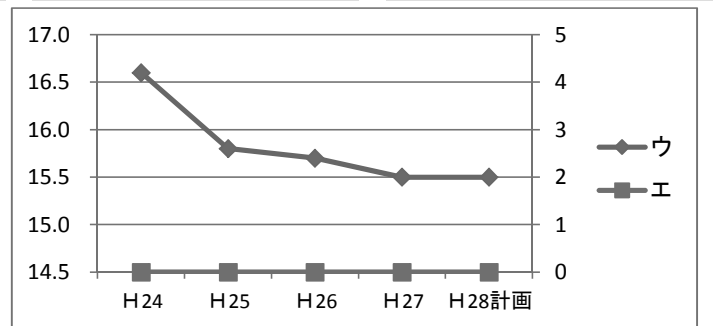
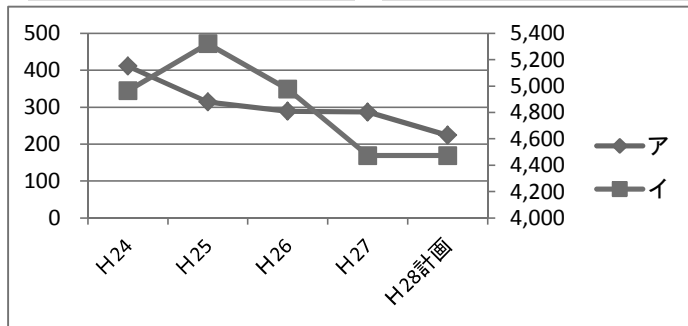
事務事業	4100	交通安全対策事務費	戦略	267	交通安全運動の推進	戦略		
			戦略	268	交通安全教室等の実施	戦略		
			戦略	269	交通事故被害者への支援	戦略		

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

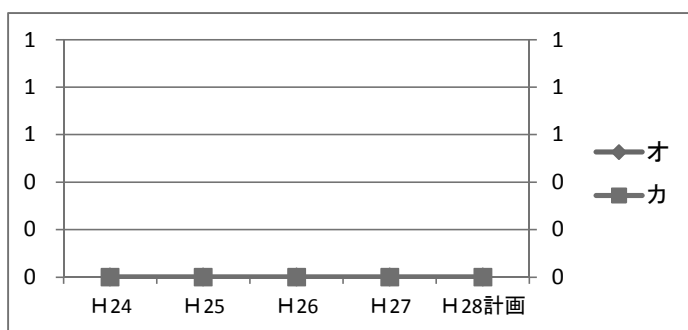
手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動) 交通安全の啓発活動実施。 交通安全教室の実施。 街頭で交通誘導及び交通指導を実施。 交通事故相談の開催。 交通災害共済の加入促進。		ア 啓発活動の実施回数	回	11	6	5	7	5
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	イ 安全教室の回数	回	106	116	113	105	108
			ウ 街頭指導員が活動を実施した延べ日数	日	1,812	1,802	1,867	1,807	2,142
			エ 交通事故相談の開催回数	日	22	22	11	11	11
			オ 交通災害共済の加入者数	人	11,295	10,869	10,738	10,527	10,327
			カ						
			④ 成果指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
			ア 交通事故死傷者数(1月～12月)	件	411	314	289	287	224
			イ 交通安全教室参加者数	人	4,964	5,321	4,977	4,473	4,473
			ウ 交通災害共済加入率	%	16.6	15.8	15.7	15.5	15.5
			エ 交通事故相談を希望したが相談できなかった人数	人	0	0	0	0	0
			オ						
			カ						

(5) 成果指標の動向

ア 交通事故死傷者数(1月～12月) イ 交通安全教室参加者数 ウ 交通災害共済加入率 エ 交通事故相談を希望したが相談できなかった人数



オ 0 カ 0



成果動向	比較	23年度 24年度	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28計画
	ア	△ 101	△ 97	△ 25	△ 2	△ 63
	イ	129	357	△ 344	△ 504	0
	ウ	△ 0.2	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2	0.0
	エ	0	0	0	0	0
	オ		0	0	0	0
	カ		0	0	0	0

(6) 事務事業に関する評価

② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	↘	数値減＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	【コメント、その理由】	低下の場合、その理由 保育所等の教室で親子参加の回数を減らしてほしい旨の意見があり、開催回数を年間4回から3回に変更したこと及び保育所等並びに小・中学校対象児童生徒数の減少による。
	成果指標イ		↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下		
	成果指標ウ		↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下		
	成果指標エ		↘	数値減＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下		
	成果指標オ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下		
	成果指標カ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下		